

【4 1次評価(担当部長評価)】

(1) 施策の推進状況とその評価		
<p>・指標1は大幅に低下したことは残念な結果である。市民が主体的にまちづくりに参画できるよう、継続的な取り組みが必要である。</p> <p>・指標2はH21から実績をとったこともあり評価は難しいが、目標をクリアできるよう、新しい取り組みの開拓が必要である。</p> <p>・「ぼぼらーと」については、利用人数は増加しており、更なる市と市民、市民同士の協働を深める必要がある。</p>		
(2) 本施策に関する課題とその改善の方向性		
<p>・市民協働事業提案制度については、実施事業が減少していることから、H24年度から市が市民と協働したい事業を提示する新たな制度も導入する。</p> <p>・市民活動情報センター「ぼぼらーと」は、まちづくり井戸端会議「ラウンドテーブル」などと連動し、市民にとって「協働の窓口」として機能するよう指定管理者とも協議しながら進める。</p>		
(3) (2)に関する具体的な対応策、改善事項		
(重点化)	具体的な事業名を併記	
手法改善	協働事業提案制度に「行政提案型」制度を追加	協働推進事業
(縮小)		

第2回委員会の主な質疑・意見等

(1) 1次評価の内容に関する意見	
<p>指標1は平成23年度実績が大きく落ち込んでいる。抽出アンケート調査では、必ずしも的確な状況が把握できないのではないか。</p> <p>相対的な傾向を把握するための調査手法としては適当と考える。今後の推移を見て行く。</p>	
(2) 課題とその改善の方向性に関する意見	
<p>協働提案事業数は確かに減ってきているが、今年から追加した「行政提案型」のようにわざわざ市が提示するまでの必要があるかは疑問。</p> <p>行政からも積極的なアプローチが必要。</p> <p>行政から提案して行くと、どうしても市民は受け身の意識を持ってしまわないか。</p> <p>協働事業の底上げのため。</p> <p>市民活動情報センター「ぼぼらーと」の取り組みは幅広いと評価できる。</p> <p>市民活動情報センターで相談を受ける担当者は、何か研修を受けているのか。</p> <p>特別な研修は受けていない。活動を通じて見識を深めている。</p>	
(3) 具体的な改善策に関する意見、その他個別事項等に関する意見	
<p>(協働事業提案制度)</p> <p>主にソフト系の事業メニューをイメージしているのか。ハード事業の提案制度を採用している自治体もあるようだが、市民からの「提案」と「要望」の区分けは出来ているのか。</p> <p>提案は双方の役割分担を明記した所定様式で受け付けている。</p> <p>協働事業の拡大は、「行政提案型」の導入による底上げよりも、まちづくり井戸端会議「ラウンドテーブル」などの機会を活用して見つけて行くべきではないか。</p> <p>23年度の協働事業提案制度実績で公費負担がゼロとしているケースがあるが、どういう主旨か。</p> <p>直接的な市の予算支出がなくても、市の支援によって提案者側の利便性が向上することがメリット。例えば、事業PRのため、市内34カ所に設置されている「あいボード」の優先掲示など。</p> <p>この協働事業提案制度の発展のためには、提案者が企業の場合には、企業側の利益はどこにあるかということを整理すべきではないか。</p> <p>(市民参加推進事業～パブリックコメント意見の減少)</p> <p>パブリックコメントに寄せられた案件の数の減少は、市民参加の手法としての斬新さが薄れてきているからではないか。</p> <p>市民が飽きてきているのでは。</p> <p>パブリックコメント以外の手法が色々できてきたことも、件数の減少につながったのではないか。</p> <p>(市民参加推進事業～市民参加の手法)</p> <p>市民参加の手法は、いろいろな方法があるべきだと考える。</p> <p>町内会活動と市民参画や協働が、直接結びつくものかどうか、イメージが湧かない。</p> <p>町内会活動と市のまちづくりとの接点が見いだせれば、理想の協働の姿となるのではないか。</p> <p>(協働推進事業～市民活動情報センターの活用)</p> <p>印刷、プロジェクタ機器のレンタルなど、ぼぼらーと(市民活動情報センター)は便利に使っている。市民活動を広げて行くためには使い勝手の良い施設である。</p> <p>既にぼぼらーとを利用している人には、その良さは分かっている。どうやって広めて行くかが重要である。広報だけでなく、図書館やパソコン利用などのきっかけが認知度の向上につながる。</p> <p>(協働推進事業～まちづくりワークショップの成果)</p> <p>市民と職員のみまちづくりワークショップ(WS)で、参加した市民側の成果はあったのか。</p> <p>具体的な協働事業プランの提案もあったものの、実現には至っていない。</p>	